

報道機関各位

熊本大学

夏季集中ワークショップ“熊本版白熱教室”『ジェンダー入門』を開催

熊本大学では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」の採択を受け、研究者がライフイベントと研究を両立させるための環境整備を行う取組みを推進するため、大学コンソーシアム熊本と連携し、熊本県内の全高等教育機関に普及する取組みをしていますが、その一環として若い世代の意識醸成を図るため夏季集中講義『ジェンダー入門』を下記の通り開催いたします。

現代は、ジェンダー的配慮無くして社会生活は乗り切れません。今回は“熊本版白熱教室”と銘打ちワークショップ形式で、各分野の専門家に学問的ジェンダーから日常生活に欠かせない実践的なノウハウまで凝縮して学び、身につけられる内容となっています。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日 時】平成27年8月26日(水)～28日(金) 10:20～16:00

【場 所】熊本大学薬学部 宮本記念館(熊本市中央区大江本町5-1)

【対 象】大学生および大学院生

【参加費】無料

【申込方法】下記申込先に、電話、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

FAXまたはE-mailで申し込みの際は、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、所属(学年)をご記入ください。

(申込先)熊本大学男女共同参画推進室 女性研究者研究活動支援事業(拠点型)事務室

TEL/FAX: 096-342-3976 (直通)

E-mail: kyoten@kumamoto-u.ac.jp

[申込締め切り]平成27年8月10日(月)

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://genderkyoten-ku.jp/>

【お問い合わせ先】

熊本大学男女共同参画推進室

女性研究者研究活動支援事業(拠点型)事務室

TEL: 096-342-3976 担当: 伊井 永田

E-mail: kyoten@kumamoto-u.ac.jp

受講料
無料

平成 27 年度 夏季集中ワークショップ

熊本版「白熱教室」 「ジェンダー入門」

今やジェンダー的配慮無くして、社会生活は乗り切れません。各分野の専門家に学問的ジェンダーから、日常生活に欠かせない実践的なノウハウまで、凝縮して学び、身につけられる絶好のチャンスです。まずは「ジェンダーって何？」という疑問を解消しに、気軽に参加してください。この機会に、他大学の学生さんと出会い、意見を交換、生き方をデザインしましょう。【最終日に修了証書を発行します】

日時

2015 年 8 月 26 日(水)～28 日(金)

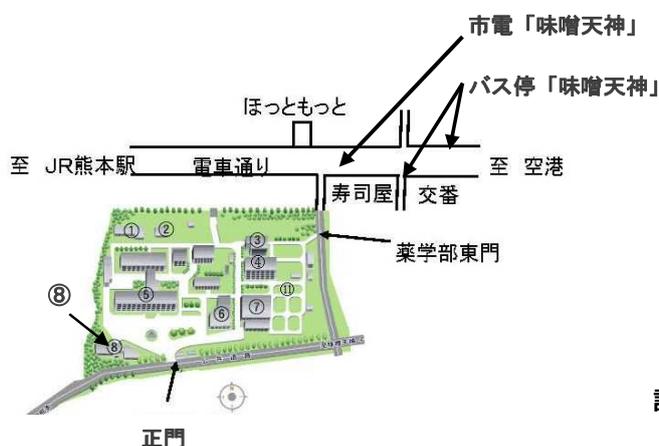
① 10:20～② 12:50～③ 14:30～
90分 × 3コマ × 3日間

場所

熊本大学薬学部 宮本記念館

熊本市中央区大江本町 5 - 1 (最寄駅 味噌天神)

下記地図の⑧が宮本記念館です。



大学生・
大学院生対象の
集中講義

講師陣

立教大学大学院

萩原 なつ子 教授

九州大学

瀬口 典子 准教授

熊本大学

鈴木 桂樹 教授

熊本県立大学

西 英子 准教授

テレビマンユニオン

花野 泰子 元プロデューサー

熊本大学

八幡 (谷口) 彩子 教授

河村 洋子 准教授

申込/問合せ先

熊本大学 男女共同参画推進室

女性研究者研究活動支援事業(拠点型)事務室

Tel.096-342-3976

Email:kyoten@kumamoto-u.ac.jp



詳しくは HP をご覧ください

各回の授業内容

		時 間	テ ー マ	講 師
8月26日(水)	①	10:20~11:50	プロローグ～ガイダンス「ジェンダーって何？」 ～ジェンダーから見た健康(格差)問題	熊本大学政策創造研究教育センター 河村洋子准教授
	②	12:50~14:20	自然人類学からみた性差・ジェンダー・セクシュアリティ 生物学的性差とジェンダーステレオタイプが強調される理由	九州大学地球社会統合科学府 瀬口典子准教授
	③	14:30~16:00	今、なぜ、どんな男女共同参画社会なのか？	熊本大学法学部 鈴木桂樹教授
8月27日(木)	①	10:20~11:50	熊本版なつ子流「白熱教室」Ⅰ 学生に問いを投げかけ議論を引き出すワークショップ(ワールドカフェ方式)で展開 「あなたが男である根拠、女である根拠は何？」	立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 萩原なつ子教授
	②	12:50~14:20	熊本版なつ子流「白熱教室」Ⅱワークショップ(ワールドカフェ方式) 「男女共同参画という考え方～社会に出て働くことについて」	
	③	14:30~16:00	熊本版なつ子流「白熱教室」Ⅲワークショップ(ワールドカフェ方式) 「どんな仕事をやりたいか？どのように生きていきたいか？」	
8月28日(金)	①	10:20~11:50	メディアとジェンダー 「メディアが作るジェンダー、メディアの中のジェンダー」	宮崎公立大学非常勤講師 元テレビマンユニオンプロデューサー 花野泰子氏
	②	12:50~14:20	男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランス	熊本大学教育学部 八幡(谷口)彩子教授
	③	14:30~16:00	職場とジェンダー (ワークショップ) 「これからの生き方・働き方を考える」(キャリアデザイン) 全講義を振り返り、ポイントを再確認。 ジェンダーの視点からこれからの生き方について 考えを発表する。(レポートにまとめる)	熊本県立大学環境共生学部 西 英子准教授

< 講師紹介 >

立教大学 大学院 21世紀社会デザイン研究科 萩原 なつ子 教授

お茶の水女子大学で博士号取得。専門分野は環境社会学、非営利活動論。環境、開発、ジェンダーを軸に研究を行っている。パワフルさとわかりやすいトークで定評のある萩原先生。昨年大好評だった「なつ子流白熱教室」を再び熊本で開講します。男女共同参画や社会に出て働くこと、さらには自分の生き方について考える「ワールドカフェ方式」のワークショップを通して「気づき」と「元気」を持ち帰れること请け合い。認定特定非営利活動法人日本 NPO センター常務理事、合意形成マネジメント協会副代表。

九州大学 大学院(学府) 地球社会統合科学府 瀬口 典子 准教授

ミシガン大学で博士号取得。専門分野は、生物人類学/ 自然人類学。古人骨を試料とし、頭蓋骨計測値データ、および歯冠計測値データを用いた形質人類学的、および生物考古学的研究を通して人類移動と拡散の歴史研究に従事。米国モンタナ大学と共同研究を実施。科学研究の内容と方法もジェンダーバイアスによる影響を受けるという考えのもと、人種差別、性・ジェンダー差別、アイヌ民族問題にも取り組む。応用生理人類学研究センター共同研究員。

熊本大学 法学部 鈴木 桂樹 教授

アベノミクスの成長戦略の中核に「女性の活躍促進」が位置づけられ、推進体制が整いつつあるが、今、求められているのはどんな「男女共同参画社会」なのか？女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの取組みは福利厚生の問題ではない、と鈴木先生。福井市生まれ、大阪育ち、広島と名古屋で学び熊大に赴任。専門は政治学で、総務省 熊本行政評価事務所 行政苦情救済推進会議座長、熊本県 男女共同参画審議会会長、熊本市 男女共同参画会議会長など歴任するほか、TV/ラジオ/新聞等メディアでも幅広く活躍中。

熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 西 英子 准教授

奈良女子大学で博士号取得。専門分野は住宅政策、まちづくり、地域コミュニティ計画。熊本市男女共同参画センター「ウィメンズカレッジ」では、「幸福度が高く社会福祉が充実」していることで知られるデンマークにおける女性の社会進出と子育て環境についてレクチャー。「日本の建築や都市空間は、子どもや高齢者、障がい者の立場に立っているとは言い難い。女性の立場で研究し発言する機会は今からますます重要で、日頃から、年齢・性別に関わらず、活発な議論ができる場を持つように心掛けて欲しい。」と語る。

宮崎公立大学 花野 泰子 非常勤講師

東京の番組制作会社テレビマンユニオンに25年間所属。プロデューサーやディレクターとして、海外ファッション情報番組や海外紀行ドキュメンタリー、女性向けの情報番組やカルチャー番組を担当。2009年に第一子出産後、東京女子大学大学院人間科学研究科博士後期課程に入学し、メディアとジェンダーの研究を本格的にスタート。2年前に家族の都合で熊本市に転居。県内外の大学や専門学校で講師を務める傍ら、スペシャリスト女性たちの団体ジェンヌ Kuranoto を設立し副代表に。2015年度からは、熊本市男女共同参画会議審議員にも就任。現在は、熊本独特のジェンダー規範に興味があり、新たな研究をスタートしようと企て中。

熊本大学 教育学部 八幡(谷口) 彩子 教授

お茶の水女子大学で博士号取得。現在、熊大の男女共同参画コーディネーターでもある八幡先生は、熊大の女性教員として初めての育児休業を取得。仕事と家庭のみならずPTAや子供会を含む地域活動まで両立し、次世代育成支援行動計画立案などにも尽力。男女共同参画や仕事と家庭生活のバランスについて基本的なことを学ぶのはもちろん、まだ将来を具体的に思い描くことができない学生にとって、どんな問題が起こり得るのか、どのように仕事に関わっていくのかをシミュレーションできる内容の講義。

熊本大学 政策創造研究教育センター 河村 洋子 准教授

アラバマ大学バーミングハム校公衆衛生大学院で博士号取得。専門はヘルスコミュニケーション。いかに健康的な行動を促すかを研究する実践的な領域で、地域の人と協働で、若い世代の人たちが地域社会に参加する仕掛けづくりに取り組む。「エンターテイメント・エデュケーション」という物語と教育を融合して、知らず知らずのうちに学習を促す方法を用い「ラジオドラマ」を制作する等、日本ではまだ新しい概念「Positive Deviance」と組み合わせることで精力的に活躍中。キャラクター「ロボリーマン週三郎」の生みの親でもある。熊大男女共同参画コーディネーター。



平成 27 年度 女性研究者研究活動支援事業(拠点型)夏季集中講義

「ジェンダー入門」 受講申込書

<p>氏 名 (フリガナ)</p>	<p>男・女</p>
<p>所属大学・学部名</p>	<p>博士課程 ・ 修士 ・ 学部 年</p>
<p>連絡 電話番号 E-mail *会場変更等の連絡のため</p>	
<p>備 考 *部分的受講希望の場合、出席する 日時をお書きください。</p>	